

1/16 3.33

通常国会の開幕

17日から始まる第208回通常国会

(会期は2月25日まで)は、昨年11月の

総選挙後、初めての通常国会として、2021年度予算案の審議をはじめ、内政・外交全般にわたる岸田政権との本格論戦の場となります。7月の参院選挙に直結する国会であり、国民の命と暮らしを守る政治への転換、憲法改悪を阻止する上で極めて重要な国会となります。

急拡大する新型コロナウイルスのオミクロン株から国民の命と暮らしを守るが最大の焦点です。15日には大阪府で過去最多の33602人の新規感染者が確認されるなど、全国で急激なスピードで感染が拡大してしまいます。最大限迅速な回収のワクチン接種や、「感染拡大は止まりませ

東京都の新型コロナウイルス感染予防タクシング検査会場—東京都墨田区



らに、国内法が適用されず検疫が免除される米軍特權となつてゐる日米地位協定を根本から見直すことが不可欠です。

政府の「コロナ対策予算

は極めて不十分です。岸田文雄首相は「お困りの方への給付」「持続化給付金の再支給」を表明しましたが、2022年度予算案には中小業者の事業支援や困窮者向けの給付。

内政・外交をめぐって日本共産党など野党が、自公政権にかわる新しい政治への展望を切り開く論戦を繰り広げるかが注目度です。

岸田内閣が打ち出した

「新しい資本主義」の中

身は、安倍・菅政治の新

自由主義を継承するもの

にすぎません。通常国会に提出予定の経済安全保

障推進法案は、半導体など

を「特定重要物質(仮

称)」と指定し、大臣業に

資金支援などを大盤振る

舞いを拡大しようとする

もので、経済の逆走があ

ります。このままでは、

エネルギーの大規模普及へ

の転換を求める論戦も注

目されます。

新自由主義を転換

「やさしく強い経済」へ

日本共産党は、新自由主義を転換するため

に、雇用・社会保障・税制の三つの分野での悪政を切り替えて、「やさしく強い経済」をつくる道を訴えていきます。

由生謹を転換するためには、男女の賃金格差の解消や選択的夫婦別姓の導入、性暴力にかかる刑法改正も緊急です。

また、石炭火力の延命をはかり廃炉依存を続けるなど気候危機打開に逆行する岸田政権に対し、脱炭素、脱原発、再生エネ

資源の利用を進めます。